

SDGs とは？



目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

目標7のターゲットは5です。主なターゲットをご紹介します。

- 7.1 2030年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。
- 7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
- 7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。



SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



認知症地域支援推進員のつばやき No. 55

誰かと関わる大切さ

コロナの制限緩和の流れの中、世の中では感染者が急増し、誰かの助けが必要な認知症の人の元へ会いに来る方が減ったりして、寂しい思いをされている方もいるのではないかと感じます。人との関わりは、認知症の進行を遅らせるためにも有効とされていますが、コロナ禍ではその大切な関わりがかなり阻害されています。会う機会が減り、会話も減る。さらにマスクで表情が分かりにくいため、この人は誰？ と不安や混乱を招いてしまうかもしれません。認知症の人を支える中で、1番大切なものを奪われた気分でした。早くマスクをせずに、遠慮なく思い切り大声で笑ったり、笑顔を見せたり、スキンシップができる日が来ますように、と日々願っています。



私たちはここにいます！

認知症地域支援推進員配置施設

- 地域包括支援センター ☎68-8941
- 利根町保健福祉センター ☎68-8291
- 複合施設 響 ☎61-8500
- 介護老人保健施設もえぎ野 ☎84-6081



男女共同参画ってなあに？ Part 107

男性にとっての男女共同参画って？

男女共同参画という言葉は、女性のためのものというイメージを持っている人もいないでしょうか。男女共同参画の実現には、女性だけではなく男性にとっても生きがいのある社会を目指すために、重要な課題があることを認識する必要があります。



例えば、このような経験はありませんか？

- ・ 残業が多くて仕事と家庭の両立ができない
- ・ 育児休業を取得したいが、職場で誰も取得していないため言い出せない
- ・ 男は、弱音を吐いてはいけないと思い、悩みがあっても相談できない
- ・ 男だから、出世して家族を支えなければならない



「男性だから」という意識や考え方が重荷になり、十分な能力が発揮できない状況になってしまうことがあります。女性だけでなく、男性も性別による役割の固定化を受けてきたといえます。女性だから抱える悩みがあるように、男性だからこそ抱える問題もたくさんあります。

男女ともに活躍できる社会とは？

「本当は家事や育児などにもっと関わりたい」という男性もいると思いますが、「毎日残業でなかなか休暇を取れない」「育児休業を取得できない」「自分には育児はできないから…」と最初から諦めてしまっていることもあるかと思えます。男性が育児などで休みを取りにくく、女性なら取りやすいという環境では、男性と女性の仕事と家庭のバランスの偏りが大きくなってしまいます。

男女ともに活躍できる社会とは何でしょうか。仕事や生活を両立する社会とはどのように実現できるのでしょうか。誰にとっても働きやすい社会が今求められています。

そのためには、性別による差別や偏見、さまざまな社会制度の見直しや、長時間労働前提の労働環境を変えること、そして男性たち自身が暮らし方を変えていくことです。そうすることで、男性だけでなく女性にとっても暮らしやすい社会の一步につながるのではないのでしょうか。

男女（みんな）の個性が輝き

思いやりでつながるまち とね



● 問い合わせ先 政策企画課 政策企画係 ☎68-2211 (内線333)